

マウンテンバイク2大会連続五輪出場

山本幸トランプ10狙う

「4年間の思い全て出し切る」



ロンドン五輪での意気込みを語る山本幸平（大賀章好撮影）

日本自転車競技連盟は4日、ロンドン五輪男子マウンテンバイク代表に、幕別町出身の山本幸平（SPECIALLYZED）国際アウトドア専門学校、帯農高

出を選んだと発表した。前回の北京五輪に続き2回目の五輪出場。同日の記者会見で山本選手は、「46位だった。北京五輪はただ参加しただけ。何もできないまま終わって悔しい思いもした。この4年間のたまった思いを全て出し切つてゴールしたい」と熱い思いを語った。（北雅貴）

成長実感「勝負できる」

海外転戦で意識高く

世界ランキングが日本選手の最上位で、国内の選手会も圧勝しており、五輪は確定的だった。十勝毎日新聞社の取材に対し、「うれ

12日。意識は常にそちらに向いている」と浮かれる様子はない。あくまで本番は

世界と戦うために何が必要かを考えていた。1月には世界チャンピオンも所属しているSPECIALLYZED（スペシャライズド、

米国）に移籍した。レベルの高い選手にもまれ、欧州を中心に大会を転戦する中でレースへの考え方が変わった。メカニックトラブルや体調管理などもレースの一部。対応することが求められた。
5月27日に愛媛県で行われた代表選考会では、帰国して4、5日しかたつておらずコンディションは万全でない中で、2位に入った兄の和弘（キャンonderレーシングチーム）北海道ハイテクノロジー専門学校、帯三条高出）に3分31秒差をつけて勝ち切った。「成長したと思う。選択は間違っていないかった。この4年で世界との差は確実に縮まっている。勝負できる環境になっている」と十分な手応えを感じている。
本番ではマウンテンバイク競技の日本での認知度を高めるため、10位以内を目標に掲げる。「十勝でもテレビ中継があると思うので、応援してほしい。大きな目標を持って努力すれば、夢はかなうという姿を子供たちに見せたい」と意気込んでいる。

（レースが行われる）8月